

報告第1号

令和5年度事業報告

シルバー人材センターの事業を行うにあたり一番大切なことは会員の健康です。国は「健康寿命延伸プラン」を策定し、2040年までには健康寿命を75歳にする目標をたて、平均寿命との差を徐々に縮めていくために、日常的に食事や運動習慣、睡眠、歯の健康維持などに取り組む必要があり、錦江町でも実施される基本健診の積極的受診を会員に促しているところです。

ちなみに、日本は健康寿命が74.1歳、平均寿命が84.3歳で、世界一の長寿大国が証明されておりますが、その差は10.2歳と大きく世界での順位は33位ともいわれております。その差を縮めることは、まさに医療費や社会保障負担額を低額にする一歩であります。

そこで、私たちの取り組みとしては、弱者を下支えする動きの中で、会員が依頼者の気持ちになり心のふれあいができるよう寄り添い、会員同士に関しては、日頃から「生活の安心安全を確保するため」に必要なことを把握できるように、地域社会の活動に参加することや、会話や相談に努めることが重要であると確信しているところです。

錦江町の「地域福祉計画」では、“各世代が助け合い、元気に暮らせる『地域』づくり”（生きがいと笑顔あふれる錦江町）という基本理念があります。

困っている人を助けるために何をしたらよいだろうかと考える前に、元気があれば何でもできるという言葉のように、まずは、自分の身体を知るための基本健診や体力づくりの大切さを周知啓発してまいりました。

健康で動けることのすばらしさ、動けることへの感謝を誰かに地域に還元し、シルバーの仕事を通して、安全に且つ効率よく、そして誰かの喜ぶ姿を想像しながら、時には会員同士が苦手分野を補いサポートしながら作業することで、良い成果を上げることもでき、助け合いの心や感謝の気持ちを強く感じた年でした。

事業の推進につきましては、依頼主とセンターそして会員の信頼関係はもちろんのこと、個人情報保護の観点から、他人に洩れないように細心の注意を払いながらの作業となります。

私たちは、作業する中で、会員同士においても対話しづらい。息が詰まりそう。と感じることがありませんか。ただ、お互いを尊重し傾聴することで、共感し心に響くことがあります。作業の目的を言い換えると、支援が感謝の笑顔となりこだますることで、「生きがい」として捉え、人と人との出会い「一期一会」、元気な気持ちでいられる自分、優しい人格の形成など、たくさんの喜びを体験できる貴重な瞬間に感動しながら、令和5年度も依頼者さんとともに目的を達成することができました。心から感謝申し上げます。

流行した新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「第5類」となり、マスク着用にあっては、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とするなど、体調の変化に気づいたら、個々で対処する必要性を感じる1年でありました。

また、最低賃金の見直しにより、受注件数の低下予想や物価高騰など先行きが不透明である状況から、下支えをする身としては時給がアップすることに抵抗を感じるという声もありました。

就業部門において、農業部門をピックアップすると、年度初めは早掘りじゃがいもの収穫そして、ほぼ同時にお茶の摘採やクレモナ（寒冷紗）被せが繁忙となり、就労マッチングが非常に困難となり、発注者さんのご要望にお応えできない時期もありました。年度途中からは焼酎原料のサツマイモ圃場の草払いが始まり、何とか依頼者の期待に添うことができたと思うところですが、作業進捗速度や急傾斜地の処理にやや満足いかないところがあったのではないのでしょうか。

年度末に入り、高菜収穫の発注が6生産者からあり、今回は初めて体験される方も含め多くの会員さんが就労されました。しかしながら、天候不良で収穫のできない日や働き方改革による就業時間の見直しなどで、数量制限が出るなど思うような成果が上げられなかった話もお聞きしたところです。

受託件数は減少しておりますが、特に天候不良で作業の延期や休業期間が長期化したものではなく、高齢者の作業ということもあり、早く作業を終わらせることに特化せずにあんしん且つ安全に綺麗な作業を心掛けこの1年取り組み、受付した作業につきましては、町外を1件対象外とし、町内の作業は全部お請けすることができましたことを心より感謝申し上げます。

昨年までできていた作業が今年ではできなくなり、シルバーへ依頼されるケースや町を離れた方から、空き家（持ち家）等の管理を含む作業依頼が増えております。

しかしながら、町内には管理の滞った空き家・空地も多数見受けられますし、行政の情報も参考に丁寧な作業が必要であると感じました。

シルバー人材センター国庫補助金は、会員数100名以上年間就業延人員数5,000人以上が補助対象の基準にしており、当センターの所属会員の健康状態などにより、現状を維持できない場合には、近い将来、就業機会を確保できない事態が起こるという危機意識を持っているところです。会員増強は必須の課題である中、うちサポート事業にかかる補助金をいかに増やすかという課題もありますので、令和4年度（前々年度）実績“就業延人員／就業実人員＝一人当たりの就業数”より、令和5年度（前年度）実績が高くないと補助額は減少する構図となっています。従いまして、就業機会を増え下支えする就労人数が増えないと補助収益は見込めませんので、会員一人一人が意欲をもって働き自信をつけられるような講習会や研修会の実施、参加についても継続して取り組みたいと感じました。

安全就業につきましては、安全・適正就業委員による毎月20日を「安全就業指導の日」と定め、就業用具の点検、安全保護具（ヘルメット）等の着用状況のチェックを行う巡回パトロールを実施して、安全就業を呼びかけてきました。

また、就業中における事故は、早く仕事を終わらせようとする意識から、安全に対する注意が散漫となり起こっているようで、昨年度よりも2件多くなったことも事実です。

特に、屋外作業は自分だけではなく他者への影響も含めて考慮する必要がありますので、日頃から、始業点検・就業点検を確実に行うことなど、今後も「事故ゼロ」の達成に向けて安全就業を呼びかけてまいります。

錦江町では、会員の作業を軽減し発注者の希望する勾配のある作業現場での作業を達成できるようにラジコン草刈機「神刈」の導入を行い、令和5年10月4日には、錦江町とセンター合同の講習会を旧大根占土木事務所跡地で実施しました。参加者は23名で会員の参加は14名となりました。

今後は、公共用地以外での利用を想定し、多くの会員、地域別に作業できる会員の発掘及び安全に就業するための講習会も独自に計画し実行してゆきたいと思っております。

次にボランティア活動ですが、全国的には第3土曜日の「シルバーの日」に取り組む傾向がありますが、錦江町は、前年度と同じく平日（令和5年10月17日）に実施し、58名の会員が参加しました。また、錦江町はかごしま国体「自転車ロードレース」の周回コースに指定されていたことから、それに関連した作業の他、会員募集を兼ね、海岸清掃（漂流物焼却）、ゴミ拾い、文化センター脇の垣根の除去、ロードミラー磨きなど実施しました。

会員の募集については、4月に各世帯へのチラシ配布を実施、役員による地道な勧誘活動により、入会申込は例年を上回り、大きな成果をあげることができたと思っております。

また、新規会員においては、希望する業と入会の時期がベストマッチとなり、即就労できたなど、発注者、会員それぞれが幸せな気持ちを感じられたと思うところです。

本町の会員数の拡大につきましては、年度末にホームページの公開準備が整いましたので、これから就業案内や入会に関する情報を配信し、会員確保等に役立てたいと思います。

また、年度内に1回以上就業した会員数ですが、令和4年度は91名だったのですが、今年度は、11名増の102名となりましたことは、会員が発注者の気持ちを理解し、自分のことのように対処されたからだ、関係者の皆様に心からの敬意と感謝をいたします。

チラシ配布の成果として、ワンコインサービスなどの事業には非常に関心度が高く、ちょっとした手助けを必要とされる方へ、もっとわかりやすく表現するなど内容を工夫したいと考えております。

また、会員においては、それぞれの地域で手助けを必要としている人がいないかなど、地域活動の積極的参加や親睦交流により、お声掛け等のコミュニケーションもひとつの「生きがい」として捉えていただき、シルバー人材センターの就労とは別に、お金はいただかないが（ジェントルボイスクャンペーン）＝“優しい声かけ運動”を地域別に取り組んだりするのも良いのではないのでしょうか。

（あんしん安全な地域に暮らせて良かったーと思えるようにまちづくりを目指して！）

安全適正就業委員会では、スズメバチ（毒虫など）等による被害を受けた会員さんもいることから、野外での活動時は、毒虫などに被害をうけない対策として、身につけるものや効果のある医薬品、そしてその対処法を持ち寄り情報共有しました。

事業実績につきましては、請負(受託)事業で53,752千円 前年実績対比104.2%、派遣事業で3,441千円 前年実績対比79.9%で、全体では事業実績57,193千円 前年実績対比102.3%となり、昨年を上回りました。これは、単価の上昇によるものが主であります。

派遣事業においては、会員の希望する仕事内容と派遣先の就業内容が合わなければ、事業を達成出来ず、派遣協力ができていない現状ですが、請負事業より事務費が高いこともあり、最近では、正規雇用の実現に向けて派遣先では検討されるなど、時代の流れに順応しながら事業を推進されているものと推察しているところです。

派遣の送迎分野では、高齢により運転に不安を抱く方や注意能力の衰えを感じている方もおられるようですし、年々その不安が大きくなるとも聞いております。

これは、派遣事業で近年起きたことですが、幼児が車中に置き去りされた話や利用者さんの個人情報が出ていたなど起きてはいけない事例でした。

このようなことにより、派遣業務を希望する会員の減少や業務改善による今後のサービスの在り方が課題となった年でした。

私たちは、あんしんで安全なサービスを提供できるよう、常に派遣先と情報共有を図り内容の充実に努めていきたいと思います。

業務内容によっては、週20時間を超える長時間労働になり、会員の健康を阻害するものもあります。派遣先には、週20時間未満の就労をお願いしておりますが、思うようにできない就業場所もあるようです。派遣社員の会員さんは、労働・社会保険の被保険者資格届や会計年度任用職員としての採用などをお考えでないか、何かお困りのことはないかなど、相談の機会を設定することも見えてきました。状況把握ができましたら同時に事務所訪問を実施し、就労負担の軽減や事業所への課題等も確認ができますので、派遣社員につきましては、いつでも相談できる体制で安全就労を心がけて下さい。

以上、事業の概要を簡単に報告しましたが、今後も会員の皆様が「自主・自立・共働・共助」の基本理念を再確認し、皆様が一体となり、地域社会の一員でもあるという自覚を持ち、地域住民の皆様からのご依頼、ご期待に応えていかなければならないと考えているところです。

参 考

※会員数、受託事業及び派遣事業実績

		目標	実績	増減	前年実績	前年との 差 異	前年実績 対比割合
会員拡大	会員数(人)	164	164	±0	152	12	107.8
受託事業	金額(千円)	54,920	53,752	△1,168	51,571	2,181	104.2
派遣事業	就業延べ 人員(人日)	1,007	604	△403	897	△293	67.3
	金額(千円)	4,000	3,442	△559	4,306	△865	79.9
受託、派遣金額合計		58,920	57,194	△1,727	55,877	1,316	102.3

※就業途中及び就業中に係る事故

(1) シルバー総合保険適用事故

① 傷害保険対象事故

発生日	性別	年齢	程度	事故内容
7月26日 午後4:30	男	72	通院1日	個人宅の剪定作業中、三脚での作業だったこともあり、ぐらつきが生じ落下転倒し脇腹を打撲した。診察の結果（右肋軟骨打撲）
8月13日 午前9:10	男	71	通院4日	MNさんがアパートの剪定作業の際、スズメバチが飛来したのに驚き、手からトリマーを離してしまい左膝を創傷した。
11月1日 午前8:20	男	71	入院59日 通院7日	空き家敷地の除草後、草をダンプ(2t車)に積み込む際、荷台後部で草を踏み込む作業をしていたKTさんが落下し胸を強く打った。搬送は、事務所で対応し、医師会で診察を受けたが、右肋骨骨折の他、右橈骨遠位端骨折も判明し整形外科のあるおぐら病院に転院となり、1ヶ月の入院後、また、医師会へ概ね1ヶ月の入院となった。
1月16日 午前10:30	男	80	通院4日	YTさんが、最初の町道（大浦地～富田線）草払いが終了し、次の現場へ自車（軽トラ）で向かう際、下り坂でギヤがニュートラル状態だったことなどが影響したためか、ハンドル・ブレーキを思うようにコントロールできず雑木竹の藪に突入し停車したが、左胸部を打撲した。

② 賠償責任保険対象事故

発生日	性別	年齢	事故内容
—	—	—	—

(2) シルバー総合保険適用外事故 無

発生日	性別	年齢	事故内容
—	—	—	—

令和５年度 主な行事経過報告

(１) 理事会

会 議	行 事 内 容	場 所
第1回 5月 8日	(1)令和4年度第4四半期実績について (2)令和4年度事業報告について (3)令和4年度収支決算報告について（監査報告） (4)「公益社団法人錦江町シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正」に係る提出議案の承認について (5)令和5年度定時総会開催日程について (6)ゴールド会員の承認について 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② 令和5年度事業計画について ③ 令和5年度収支予算及び資金調達及び設備投資の見込みについて ④ その他報告事項 会員錦江生き生き会総会議案について	総合交流 センター 2階大会 議室
第2回 7月26日	(1)令和5年度第1・四半期実績について 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② 代表理事等の職務執行状況報告について その他	総合交流 センター 2階大会 議室
第3回 10月25日	(1)令和5年度上半期実績について (2)(公社)錦江町シルバー人材センター事務費の額の改正について (3)(公社)錦江町シルバー人材センター会員配分金見積り基準の一部を改正する基準の制定について (4)健康づくりグラウンド・ゴルフ大会について (5)会員研修について 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② ラジコン草刈機講習会等について ③ シルバーボランティア活動について ④ 代表理事等の職務執行の状況報告について その他	総合交流 センター 2階大会 議室
第4回 1月24日	(1)令和5年度第3・四半期実績について (2)(公社)錦江町シルバー人材センター職員給与・退職給与規程の一部を改正する規程の制定について (3)(公社)錦江町シルバー人材センター嘱託職員就業規則の一部を改正する規則の制定について 報告事項 ① 代表理事等の職務執行の状況報告 ② 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ③ 令和6年度高齢者活躍人材確保育成事業説明会・就業体験・技能講習など ④ 新契約方法について ⑤ ホームページ開設に向けての動きについて ⑥ 研修旅行について その他	総合交流 センター 2階大会 議室

第5回 3月26日	(1) (公社) 錦江町シルバー人材センター職員給与・退職給与規程の一部を改正する規程の制定について…継続審議 (2) (公社) 錦江町シルバー人材センター嘱託職員就業規則の一部を改正する規則の制定について…継続審議 (3) 令和5年度収支補正予算について (4) 令和6年度事業計画(案) (5) 令和6年度収支予算案(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて 報告事項 ① 代表理事等の職務執行の状況報告について ② 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について その他	総合交流 センター 2階中会 議室
----------------------	---	--------------------------------------

(2) 会議等

年 月 日	行 事 内 容	場 所
R5.4月12日	連合会訪問（令和5年度事業周知啓発）	総合交流センター
4月20日	安全就業パトロール	町内
4月21日	令和4年度分の監査	シルバー本所
5月18日	安全就業パトロール	町内
5月26日	定時総会（156名中 出席28名、委任68名）	文化センター
6月 8日	県内シルバー事務局長会議	鹿児島市
6月15日	県連合会総会	鹿児島市
6月23日	安全就業パトロール	町内
7月 4日	安全大会	鹿児島市
7月12日	安全運転管理者講習会	文化センター
7月14日	安全就業パトロール	町内
7月20日	安全・適正就業委員会	総合交流センター
7月25日	啓発・広報委員会	鹿児島市
8月22日	安全就業パトロール	町内
8月30日	女性会員活性化委員会	鹿児島市
9月16日	安全就業パトロール	町内
10月 3日	労働局指導	総合交流センター
10月 5日	班長会	総合交流センター
10月17日	ボランティア活動及び会員募集活動 58名参加	町内
10月19日	県内シルバー事務局長会議	鹿児島市
10月20日	安全就業パトロール	町内
10月26日	安全適正就業担当者会議	鹿児島市
11月 7日	訪問コンサルティング	鹿児島市
11月17日	安全就業パトロール	町内
11月21日	女性役職員研修会	鹿児島市
11月26日	健康づくりグラウンド・ゴルフ大会 37名参加	多目的グラウンド
12月 8日	安全就業パトロール	町内
12月 8日	肝属地区シルバー人材センター事務局長会議	鹿屋市シルバー
12月28日	仕事納め	シルバー本所
R6.1月 4日	仕事始め式	シルバー本所
1月17日	経理担当者研修会	鹿児島市
1月18日	安全就業パトロール	町内
1月18・19日	職場健康診断	J A根占支所
2月 8日	県内シルバー事務局長会議	鹿児島市
2月16日	安全就業パトロール	町内
3月 8日	安全就業パトロール	町内